

ご あ い さ つ

令和7年度市政年報を発行するに当たりまして、ごあいさつを申し上げます。

このたび、市民の皆様のご信託をいただき、栃木市長の重責を担わせていただくことになりました。「暮らしやすさ日本一の栃木市」を目指して、栃木市の未来をひらくための市政運営に、全力で取り組んでまいります。



さて、この市政年報は、市政の概要を記録し市民の皆様提供するとともに、市政運営の成果を後世に伝えるために作成しております。

令和7年度を振り返りますと、大河ドラマ「べらぼう～蔦重栄華乃夢噺～」の放送に併せて、9月には歌麿役の俳優・染谷将太さんをお招きしての「トーク&パブリックビューイング」、10月には「歌麿まつり」を開催し、本市ゆかりの浮世絵師喜多川歌麿と栃木市の関わりを全国に広く周知するとともに、市内外から多数のお客様をお迎えすることができました。

また、戦後80年の節目の年であり、戦争を直接体験された方々の体験と記憶を次世代へ継承していくことが課題となる中、非核平和都市宣言の趣旨を踏まえ、改めて戦争の悲惨さや核兵器のおそろしさを伝えるとともに、命の尊さや平和について考える機会を提供するため、広島平和記念式典に中学生を派遣する「広島平和記念式典中学生派遣」、市民団体との共催による「とちぎ非核平和展～ヒカリから光へ～2025」、戦争体験の語り部による「戦争体験を聞く会」等を実施いたしました。

今後におきましても、栃木市にお住まいの方やこれから本市に住みたいと思っている方にとって暮らしやすい、誇りに思えるまちづくりを進めるため、市民一人ひとりの声を大切に、各種施策の推進に取り組んでまいりますので、皆様の更なるご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和8年8月

栃木市長 琴 寄 昌 男